

記者発表（発表・資料配付）				
月／日 （曜日）	事務所等名	電話	発表者（担当者）	配布先
8/29(木) 14:00	県立農林水産技術総合センター 森林林業技術センター	0790- 62-2118	所長 岩本 順造 （課長 永井 智）	県庁 西播磨県民局

研究機能を強化して、スギ横架材の長期的信頼性維持等の試験研究を新たにスタート

1 趣 旨

戦後の拡大造林による植林木が伐期を迎える現在、大径化（直径 30cm 以上）したスギ材の利用を進める必要があります。

このため、住宅建築用材の中で、これまで利用が低位な「横架材（梁・桁）」への利用拡大を目指し、本年 3 月にクリープ試験機を導入するなどの研究機能強化を行ったところです。

このたび機械の調整や予備試験など準備を終え、本格的に試験研究を始めます。

2 内 容

（1）スギ横架材の品質を長期的に維持するための製品管理技術の確立

長期にわたって荷重をかけた場合の変形度合を追跡し、長期的に品質を維持するための製品管理技術を確立します。

研究を進めるため、「クリープ試験機」を導入し、9 月から本格的に試験を開始します。

この試験機は、試験体の下側から荷重をかけることで機能性や安全性を高めた、全国的にも数少ない機器です。

（2）スギ高含水率心材・黒心材の形成機構の解明

スギ大径材を利用する上での二大弊害（「高含水率心材」（均質な乾燥が難しい）、「黒心材」（材色が悪い））の発生機構を解明し、品質にすぐれた製品開発に繋がります。

研究を進めるため、細胞レベルでの水分布・元素分析が可能な「分析走査クライオ電子顕微鏡」を導入し、国内の複数の大学からも研究者を迎え、本格的に実験を始めます。

この顕微鏡は、試料作製から観察までの作業性に秀でた、全国的に見ても屈指の設備です。



長期の変形を測定する
クリープ試験機



分析走査クライオ電子顕微鏡



大学関係者と共同で
進める予備実験

3 問い合わせ先

研究等について取材を希望される方は以下までご連絡ください。

兵庫県立農林水産技術総合センター森林林業技術センター

〒671-2515 宍粟市山崎町五十波 430 電話：(0790)62-2118 ファックス：(0790)62-9390